

# 令和7年度第3回石巻市地域公共交通活性化協議会 会議録

◆日時：令和8年1月20日（火） 午後1時30分から午後2時45分まで

◆場所：石巻市防災センター 2階 多目的ホール

## 1 開会

委員数29名のうち、19名出席のため会議成立

## 2 会長あいさつ

今日は、今年初めての会議として今年度3回目ということになります。通常のタクシーであるとか、住民バスであるとか、そういうお話に加えまして2つほど協議事項がございますので、皆様方からの忌憚のない御意見をいただければというふうに考えておりますので、よろしくお願いたします。

## 3 協議事項

### (1) 地域公共交通確保維持改善事業の一次評価について

(説明：復興企画部地域振興課)

(質疑応答)

委員	ただいま事務局からも御説明がありましたように、この評価というのは、来年度、実際に総合交通計画を見直すための、今年度は基礎調査をなさったということで、そのため、進められた内容を今年度、皆さんで評価していただくというものになるかと思えます。ですので、ここに書いてあるのはスケジュールどおり事業を実施していただいたというところを評価していただくということかと思えます。その整理された内容というのは、来年度の実際の計画をつくっていく、素案を構成されていく中で、皆様にお示し頂くものだと思いますので、そこは来年度も引き続き、皆さんのほうで協議をよろしくお願したいと思えます。
会長	はい。ありがとうございます。中身については、むしろ来年度で、まずは調査を行ったという、そのスケジュールどおり行ったというところが適切ということでよろしいですかね。
委員	一次評価のところの(3)住民の交通行動及びニーズ等の把握ということで、交通事業者ヒアリング調査とアンケート調査とあるのですが、これはどういう内容なのでしょう。
事務局	市民や高校生についてのアンケートにつきましては、今の実態、便利・

	<p>不便も含めて、普段の利用状況であったり、そういうところのアンケートとなります。交通事業者さんへのヒアリングにつきましては、今後、公共交通事業者さん、タクシーももちろん含めますけども、事業者さんの現況などを、お話を聞きながら、ヒアリングというところを一つと、あとはアンケートについては近年の事業状況であったりとか、利用状況であったりとか、その辺のアンケートになるかと思います。</p>
委員	<p>これいつ頃やるのですか。</p>
事務局	<p>終了するのは2月末ぐらいまでを予定していますので、2月中に実施して2月中に終わるといような、そのようなスケジュールになっております。</p>
会長	<p>せっかくなので中身のほうは、次年度以降という話でしたけれども、これ人口カバー率が明らかになったというのは、メインでちょっと出てきているので、人口カバー率大体どんな感じで、今のところで結構ですので、だから、どういうことが、見えてきているのか、その辺り、もしありましたら教えていただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>資料は3ページ、非常に文字が小さく見えづらいと思いますが、右手の(2)公共交通カバー率というところになります。鉄道駅から500メートル以内又はバス停から300メートル以内で、住んでいる方のカバー率はどれだけかというところで、全部調査をもう一度やり直したというところがございますけれども、ここにあるとおりですね、今のところ、公共交通のカバー率というのは、この区分でいうと81%になっているという状況で、例えば、もう少し、駅から1キロ以内とか、バス停から500メートル以内とか、範囲を広げれば、カバー率も上がってくると思うのですが、基準としているカバー率、この駅から500メートルバス停から300メートルというところではいいかと81%というところになっております。</p>
会長	<p>今このような調査を行っているのが今年度ということで、これをさらにいろいろ組合せながら考えていくというのが次年度でございますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは特段御意見がないようでございますので、評価につきまして協議事項1の評価につきましては、事務局案のとおりといたしたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>

(協議結果)

事務局案のとおり評価を決定
---------------

(2) 山の手地区乗合タクシーの変更について

(説明：復興企画部地域振興課)

(質疑応答)

委員	今、事務局のほうからお話がありましたとおりで、我々タクシー協会のほうで請け負っていましたが、3者で頑張ってきたのですが、1者どうしても、これができないというなお話で、その3者とまた私支部長と4者会談をしながら何とか頑張ってもらえないかというお話をしましたが、やはり運転手不足、またちょっと売上げの減少ということから、どうしても迷惑をかけますが辞めざるを得ないというなお話を受けましたので、大変、皆様方には本当に支部長として大変恐縮でございますけれども、この場をお借りしまして、おわびを申し上げまして、この2者で頑張るというようなことでありますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げたいと思います。申し訳ございませんでした。
委員	3社から2社になるということで、実際2社で運行されるタクシーの車両台数は、変更というか、数が減ったりとか、そういう点はあるか、数としては変わらないですか。
事務局	事務局で把握している限りですが、北上タクシーさん、今度入るタクシーさんですね、車両数が多いので、3者でやっていたときと2者になったときで台数はさほど変わらないと聞いております。
会長	先ほど、原因として、おっしゃっていたのは運転手不足とそれから売上げ減ということでしたけれども通常タクシー走らせているよりも、こちらの乗合タクシーを走らせるとタクシー会社としては売上げが減るという、そういう理解でよろしいでしょうか。
委員	タクシーは歩合制でありまして、この運転手さん特に、今まで3者でやったところのタクシーは、その従業員を使って、ですから、実際ですと、普通に車をまわしたほうが自分の売上げにはなるわけでありまして。ですから、逆に今度は、乗合タクシーの客数は減ってきているところがありますので、それではちょっと採算が合わないなというなお話を聞いております。それから、先ほどの話ですけども、まるごとタクシーさん北上タクシーというのは、同じ経営者でありますので、一つにしたと

	<p>ということで、台数は多くなるというような先ほど事務局の話ですけども、何とかフォロー・カバーはできると、そういうようなことでありまして、大変申し訳なく、今大変高齢化になっておりまして、特に山の手は道が狭いということもありまして、お年をとった運転手さん、やはりちょっと怖いというが、細い道路ということで、そういう面も多々あったというようなお話を聞いております。</p>
--	---

(協議結果)

	異議なし 承諾
--	---------

(3) 水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシーの停留所の変更について

(説明：復興企画部地域振興課)

(質疑応答)

	なし
--	----

(協議結果)

	異議なし 承諾
--	---------

(4) 河南地区乗合タクシーの運行日の変更について

(説明：河南総合支所地域振興課)

(質疑応答)

	なし
--	----

(協議結果)

	異議なし 承諾
--	---------

(5) 北上地区住民バスの運行計画変更について

(説明：北上総合支所地域振興課)

(質疑応答)

委員	<p>意見というよりも確認だったのですが、協議会におきましては特に異議がなかったということだったのですが、実際、利用している方の声というのは聞いているのでしょうか。</p>
事務局	<p>利用者の声というのは確認していません。バスの停留所の利用数ですかね、毎月、このバス停から何人乗っているというような確認はしております。</p>

委員	今、確認させていただいたのが、今回廃止になる停留所もあるので、これを公表した段階で、混乱しないかなというような、心配事だったのですが、そういったところがないように、しっかり周知のほうはしていただきたいと思います。よろしくお願いします。
事務局	各バス停に利用者の方がいることも確認はしております。河北地区の八軒からバス停を大分廃止しておりますが、どうしても北上地区の住民バスになりまして、大上、今回新設した要害等ですね、河北のバス停を廃止にしない限りですね、大上のほうまでバスの運行ができないということで今回、廃止とさせていただいておりますが、河北総合支所のほうには事前に相談しに行っておりますので、今あるバス停等が新年度になったら廃止することをなるべく早めに周知できるようにしたいと思っております。

(協議結果)

	異議なし 承諾
--	---------

(6) 牡鹿地区市民バスの対価について

(説明：牡鹿総合支所地域振興課)

(質疑応答)

	なし
--	----

(協議結果)

	異議なし 承諾
--	---------

(7) 登米市自家用有償旅客運送の導入について

(説明：登米市まちづくり推進部市民協働課)

(質疑応答)

委員	運行者ですが登米市内の交通事業者と書いてありますが、これはタクシー事業者かバス事業者か教えていただけませんか。
登米市	今現在、タクシー事業者のほうを想定してございます。
委員	実はこれは大分前から、栗原登米タクシー協会のほうから石巻のほうに連絡がありまして、どうでしょうかということで案内があったのですが、そちらから来るので、うちのほうでは、反対もどうもできませんというような話なので、登米市内の事業者、タクシー協会、バス業者さん

	<p>のほうで了解を得ているのであれば、石巻としては、問題なくOKで、私がかまいません。</p>
<p>登米市</p>	<p>事前にタクシー協会さんのほうにも相談させていただきまして、あとバスのほうにも、関連会社とかですねそういう方々にも御相談させていただきまして、まず検討した上で、今回このような事業の案として出させておいていただいております。今後ですね、2月の中旬に市のほうの公共交通会議でも諮りまして、正式に、お認めいただいた場合にこの事業を実施することになっておりますので、今後さらに内容を精査して、皆さんに御説明させていただきたいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>対象者のところで登米市在住で、対象病院の通院が困難な方と書いてございますが、実際にこういう方限定で、輸送をするに当たりましては、どういうふうに、こういう通院が困難であるということを証明してもらうのでしょうか。あらかじめ登録してもらうのか、あるいは実際には、来た人みんなを輸送するような感じなのか、その辺ちょっと教えていただきたいなと思います。</p>
<p>登米市</p>	<p>まず、判断につきましては、最初は、診察券などを確認する予定もしていたのですが、運転をもしお願いした場合に、いちいち診察券とか年齢を確認することが、手間になってしまいますので、それを省く形で、来た方は全て通院困難者ということで受入れを可能としております。その際にまず予約を市のほうで受けまして、その際に、年齢だったりいろいろ内容を聞いた上で、予約を受けさせていただいて、それで予約済みの方のみ、乗降が可能ということにしております。</p>
<p>会長</p>	<p>一般論としてですが、こういう交通は、広域的にどうとくのかというところも結構重要ななと思っております、そういう中で、石巻市ともしも何か協働できるような部分があるようでしたら、何かそういうことをするというのも選択肢としてはあるのかなというふうにも思っております、その際にどういうメリットがあるのかデメリットがあるのかというのは、最終的にデメリットのほうが大きいので、登米からダイレクトに、石巻赤十字病院まで行くのがベストですという話なのかそれとも、例えば途中、桃生のどこかに寄って行って、桃生の住民バスの代替になるとか何かそういう、石巻にとっても、登米にとっても、お互いウィン・ウィンになるようなことというのがひょっとしたらあるかもしれないなと思っております、その辺りも、ちょっと可能かどうかわからないのですけれども、実証実験自体はもう既に多分、社会実験自体はされると</p>

	<p>思うので、既に遅いのかもかもしれませんけれども、そのあとの、実際にどうするかというあたりも、含めて、もし何かそういう広域的に連携できる部分があるのかどうかというところについても、御検討いただければなと思います。半分お願いというか感想みたいなのですがいかがでしょうか。</p>
登米市	<p>今現在、石巻赤十字病院に登米市のほうから通院する場合には、行きについては、約1時間半で、まず登米市民バスを使いまして、あと高速バスに乗り継いで、最後に、上品の郷から石巻市の路線バスに乗り継いでという形で、大分乗り継ぐような形になります。帰りについては、時間帯がちょっと合わないのかですね、2時間半から4時間40分ぐらいかかりまして、かなり時間がかかるということで病院に通う方に大分負担がかかるということで、乗り継ぎと時間も考慮して、直接行けるようなものということで、今回提案させていただきました。広域的にいろいろな連携をとれる方法、この実証実験の中で、いろいろと検証しながら、もし連携できるものがあればしていきたいとは考えてございます。</p>
会長	<p>桃生の全部のまちとか河南の全部のまちを通っていくというのは多分不可能だと思うのですが、何か主だったところだとか、こういうのがハブとなって、フィーダーのような形で、住民バスみたいなものが動くとかいろいろな形があるかと思いますが、そういうのもちょっと御検討いただければなというところでございます。</p>
委員	<p>登米市のこの件につきましては、病院への移動ということなのですが、例えば高齢者の方で、病院に通院するとなったときに、大体は1人で行かれるというよりは、御家族の付き添いがあるかと思いますが、例えば御家族がちょっと車を運転されないとか、そういった場合にこういう有償の旅客運送を使うと思うのですが、その際には御家族のほうも対象になるのでしょうか。</p>
登米市	<p>その点につきましてはやはりいろいろと意見をほかからもいただいておりますので、通院される方がまず第1に当たるのですが、やはり介助する方も必要であろうというお話をいただいております。</p> <p>また、お見舞いする方というのも御高齢で例えば運転できないよと、そのおじいさんの着替えを持っていくとか、そういうのも含めてですね、第1優先は通院者になるのですが、その方々も空きがあったら、ぜひ乗っていただきたいなと思いますので、そういう方も対象にしようと考えてございます。</p>

(協議結果)

異議なし 承諾
---------

#### 4 その他

##### (1) 路線バス（株式会社ミヤコーバス）の変更について

(説明：株式会社ミヤコーバス)

(質疑応答)

委員	これまで石巻駅を中心に、時計回りだった免許センター線と、反時計回りだった蛇田線の統合ということだったのですが、蛇田線をこれまで使っていた、例えば清水町や新橋の人が、今後統合されたことによって、運賃はどのようになるか決まっていれば教えていただきたいのですが。
委員	運賃につきましては、既存の運賃と同額にしております。今回の経路変更でもって高くなる区間というのはないということになっております。ちょっとさっき説明が漏れていましたが、新しい免許センター線がぐるっと回っていく途中で日赤病院に入っていくところを点線でこの地図に表示されておりますが、これは一部の便が日赤病院を経由するという意味でございます。日赤に経由するのは向陽町入口から日赤に入ってまた同じ道に出てきてというふうに運行して、若干日赤に行かない人は遠回りになってしまいますが、それでも遠回りした分の運賃が加算されることはありませんので、現在、蛇田線で、お支払いいただいている運賃と同額となっております。
委員	免許センター線、循環型といいましたが、そうすると、上りと下りということになるのですか。
委員	はい、そのとおりでございます。循環ですので蛇田先まわりと大街道先まわりと両方ありますので、両まわり運行するという形になります。3ページの下のところ、増便と書いてありまして便数が書いてありますけれども、改正後の上りが13便、下りが13便となっております。どちらまわりも平日は13便ずつを運行するということになります。土日は8便ずつですのでどちらまわりも、8便ずつ運行するという形になります。
委員	もう1点お願いします。ししど内科さんのところ、免許センター線、これ今までどおりですか。

委員

ししど内科はそのままでございます。石巻あゆみ野駅南というバス停が今ありますが、そのバスだけは廃止になります。

石巻市地域公共交通活性化協議会 委員名簿（敬称略）

番号	氏名	役職名	備考
1	遠藤 国男	石巻市町内会連合会委員	
2	小関 薫	河北地区行政委員会大川地区副代表	欠席
3	高橋 守次	雄勝地区住民バス運行協議会会長	欠席
4	女川 清一	河南地区乗合タクシー運行協議会会長	
5	細川 広	桃生地区行政委員会副会長	欠席
6	武山 憲夫	北上地区住民バス等運行協議会副会長	欠席
7	石森 清孝	牡鹿地区行政区長会大原行政区長	欠席
8	伊藤 圭貴	石巻市PTA協議会理事	欠席
9	箕田 朗子	特定非営利活動法人障がい者ベース石巻によつきり団代表	欠席
10	高橋 智恵	特定非営利活動法人やっぺす事務局	欠席
11	三谷 れい子	石巻市老人クラブ連合会理事	
12	清水 真理子	石巻を考える女性の会副会長	
13	舘脇 正行	社会福祉法人石巻市社会福祉協議会雄勝支所長心得	欠席
14	関澤 京子	国土交通省東北運輸局宮城運輸支局輸送・監査部門首席運輸企画専門官	
15	西脇 静夫	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所石巻国道維持出張所所長	
16	阿部 博敬	宮城県企画部地域交通政策課地域鉄道担当課長	
17	和久 一隆	宮城県東部地方振興事務所地方振興部副参事兼総括次長	代理
18	保土原 真	宮城県東部土木事務所総括次長	
19	笹本 忠嗣	宮城県石巻港湾事務所総括技術次長	
20	戸田 和実	宮城県石巻警察署交通課係長	代理
21	山下 哲哉	宮城県河北警察署交通課長	
22	奥山 武信	株式会社ミヤコーバス執行役員管理部・営業部総括兼管理部長	代理
23	池田 憲彦	一般社団法人宮城県タクシー協会石巻支部支部長	
24	安倍 洋平	網地島ライン株式会社代表取締役	
25	三笠 亜希子	東日本旅客鉄道株式会社小牛田統括センター副所長（石巻駅長）	
26	姥浦 道生	東北大学災害科学国際研究所教授	
27	工藤 周平	石巻専修大学経営学部教授	欠席
28	今野 正太郎	石巻市建設部部長	
29	岡 浩	石巻市復興企画部部長	